

【執筆者プロフィール】

堀 祥岳／一九七七年岐阜県生まれ。早稲田大学大

学院文学研究科博士課程単位取得。岐阜

県安国寺副住職。妙心寺派教化センター

教学研究委員。

梁 特治／僧名・梁道海。一九六九年大阪府生ま

れ。大韓民国東国大学仏教学部禅学科専

業。花園大学大学院文学研究科仏教学専

攻（博士後期課程）在学。

《『圓悟心要』 訳注・花園大学国際禅学研究所『圓

悟心要』研究会参加者》

野口善敬（九州西教区・長性寺住職）

小川太龍（兵庫教区・常楽寺副住職）

桐野祥陽（京都両丹教区・大泉寺住職）

瀧瀬尚純（京阪教区・寒山寺副住職）

廣田宗玄（兵庫教区・順心寺住職）

本多道隆（京阪教区・梅松院副住職）

丸毛俊宏（愛知西教区・永弘院住職）

《『楞嚴経』 訳注・教学研究委員会参加者》

小川太龍

野口善敬

廣田宗玄

堀 祥岳（岐阜東教区・安国寺副住職）

本多道隆

丸毛俊宏

【編集後記】

おかげさまで、この度『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』第一二号が発刊の運びとなりました。諸般の事情により発刊が大幅に遅れてしまい、多くの方々にご迷惑をおかけしましたことを、先ずもって深くお詫び申し上げます。

さて今号では、宗門を担う若手の研究者であり本派教学研究委員でもある堀祥岳師より、江戸中期の臨濟宗妙心寺派の学僧である無著道忠禪師が著した『禪林象器箋』の写本について、各写本の所在をもとに、その伝来・流布に関わる端緒を開いた貴重な成果が寄せられました。

また花園大学大学院文学研究科博士後期課程仏教学専攻在学中の梁特治氏は、妙心寺派宗務本所の奨学助成基金より交付された、平成二十五年度妙心寺派花園大学仏教学科研究者助成金による成果の一部を当紀要に発表されました。この助成金は、臨濟禪を通じて花園大学仏教学科教員の学術研究の進展、また若手研究者の育

成に寄与することを目的として設けられたものです。梁氏の玉稿は、その嚆矢となるものです。これを機に、今後も臨済禅のさらなる発展に寄与するような優れた研究成果の発表を期待しております。

なお訳注二篇は前号に引き続き、『圓悟心要』、及び『楞嚴經』巻六の輪読の成果となっています。

当紀要は、第一一号より電子化に移行し、誰にでも容易に閲覧することができるようになりました。宗門機関が世に出す研究紀要として、号を重ねる毎に宗門内外の方々にも認識されるようになってはきましたが、今後、より確固たる存在意義を示していくためにも、『教学研究紀要』に寄せられる多くのすぐれた研究成果を期待しております。引き続き、皆様からのご寄稿をお待ち申し上げます。

末筆ながら、教化センターの佐々木伸隆師には事務全般の労を煩わせました。ここに深く感謝申し上げます。

(丸毛俊宏 記)

【電子版『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』執筆要項】

教化センターでは、下記の要領で、「論文」「訳注」「研究ノート」「資料紹介」「書評」などを募集しております。ふるってご投稿ください。

*

《テーマ》

臨濟宗を中心とした禪宗に関するもの。ただし、仏教全般にわたる内容で、宗学に資すると考えられるものについては、これを認める。

《枚数》

四〇〇字詰原稿用紙 五〇枚以内を目安とする。ただし、論証の過程で紙幅を更に要する論文や訳注原稿などについては、超過を認める場合もある。

《体裁》

- 本文は日本語とする。
- 縦書きを原則とする。ただし、サンスクリットなどの資料を中心とする場合については、横書きを認める。
- ワードプロソフト（二太郎もしくはWord）で執筆された原稿のみを対象とする。
- 資料を口語訳した場合には、原文を必ず本文中または注に付すこと。
- 正漢字体と常用漢字体のいずれの使用も可とするが、全体もしくは本文や注単位で必ず統一性を持たせること。
- 資料として書き下し文を用いる場合、仮名遣いは新旧任意とする。
- 「今昔文字鏡」などの特殊なソフトウェアを使用した場合は、提出時にその旨を明記する（ハコ）。

《提出方法》

- テキストファイルのデータとPDF、打ち出し原稿、英文タイトルを提出すること。
- テキストファイルのデータとPDF、及び英文タイトルについては、メールでの送付も可能。 ※詳細については、教化センターにお問い合わせください。

《提出先》

〒六二六―八〇三五 京都市右京区花園妙心寺町六四

妙心寺派宗務本所 教化センター ☎〇七五―四六三―三二二一代

※封筒の表に「紀要原稿在中」と明記すること。

《締切》

毎年十二月末日（厳守）

《公開》

翌年四月（予定）。妙心寺公式サイト (<http://www.myoshinji.or.jp/>) のみでの公開とし、紙媒体での刊行は行わない。

《その他》

抜刷の提供は行わない。抜刷を希望する場合は、実費及び送料を執筆者負担とする。

※詳細については、教化センターにお問い合わせください。

臨濟宗妙心寺派

教学研究紀要 第十二号

平成二十六年 十二月十五日 発行

発行人 栗原正雄

編集 妙心寺派宗務本所教化センター

制作 株式会社石田大成社

発行所 妙心寺派宗務本所教化センター

〒六一六一八〇三五

京都市右京区花園妙心寺町六十四

電話（〇七五）四六三一三二二一（代）